



+

学生のメンタルヘルス促進には
「物語」の力が必要だ。

+

原匠

〒577-0056
大阪府東大阪市長堂2丁目4-18
トーアビル302
MAIL htt.tkm@gmail.com
TEL 080-1453-9224

活動情報

公式LINE



HP
<https://make-ics.com>



メンタルヘルス出前授業



うつ病当事者講話

「答えはずっと先にある」

～うつ病当事者の挑戦、挫折、再起の話～

うつ病当事者の話を聞き、精神疾患に対する偏見や思い込みの軽減に寄与する講演授業。

講師の原氏は学生時代、バスケットボール大阪府代表の主将を務め、慶應義塾大学へ進学。順風満帆な将来を嘱望されていたが大学3年生の頃にうつ病を発症。精神科病棟で入院生活を送ることに。仲間や家族の支えもあり、無事に卒業をするも社会人2年目にうつ病を再発。休職を余儀なくされる。そんな中、ある出来事をきっかけにメンタルヘルスの普及啓発活動を始める決意を決意。新たな挑戦として自転車日本一周旅を開始し、各所で発信活動に励んだ。

精神科病院での生活、日本一周旅を通じて彼が見てきたもの。学生時代から精力的に取り組んできたバスケを通じて得られたもの。彼が見つけた答えとは。

教職員/支援者向け研修



当事者発信を通じたメンタルヘルス教育の可能性

「共感の可能性」

～理解を超えた共感がもたらすもの～

教職員、支援者向けのメンタルヘルス教育研修。

令和4年度の小学生、中学生における不登校生徒数は約30万人と過去最多。小学校、中学校、高校の児童、生徒の自殺者数は514人。統計がある昭和55年以降、初めて500人を越えて過去最多となった。

それらの情報に加え原氏自身のうつ病当時の話、当事者発信活動の中で対話を重ねた不登校生徒、若手社会人、プロスポーツ選手の話など当事者のリアルな声。

それらの話も踏まえ、私たちにできるサポートについて考える。

活動実績



小学校/中学校/高校/大学

八尾市立山本小学校
東大阪市立盾津中学校
近畿大学附属福岡高等学校
森ノ宮医療大学など

教職員/支援者向け

尼崎市教育委員会生徒指導担当者研修
静岡市こころの健康センター講座など

メディア取材



新聞

日経新聞・朝日新聞・新潟日報
毎日新聞・産経新聞・沖縄タイムス
西日本新聞・共同通信・山形新聞
中部経済新聞・佐賀新聞
JapanTimesなど

テレビ

KTNテレビ長崎「マルッと！」



メンタルヘルス授業講師

1996年生まれ、大阪府東大阪市出身。慶應義塾大学環境情報学部卒。

学生時代はバスケットボール部に所属。大阪府代表チームの主将や全国大会出場を経験。

大学卒業後、三井住友海上火災保険株式会社に入社。営業職として勤務。

学生時代、社会人時代にうつ病を経験した後、メンタルヘルス普及啓発活動を実施することを決意し同社を退社。活動の一環として2021年3月から自転車日本一周旅を開始。全国各地の教育現場や福祉施設等での講演活動、バスケットボール交流を通じて活動を推進してきた。

旅を終えてからも各所への訪問活動を続け、若者のメンタルヘルス促進について探究している。

公式LINE
授業や研修に関する
ご相談・ご質問



HP
活動情報

